

---

---

# 井戸端だより

---

---

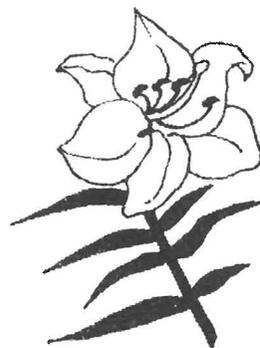
第30号

発行日：2000.6.30

発行：くらしの学習会

梅雨の曇り空が続くと、晴れ間が恋しくなります。晴れの日ばかりだと「雨でも降らないかなあ」と思うのに。人って勝手ですね。

先日の総選挙では相も変わらず投票率が低迷していましたね。政治が暮らしから離れていった結果だとは思いますが、果たして私たちは政治を自分の手の届くところへ取り戻す努力をしているのでしょうか。結果に対してよりも投票率の低さに、漠然とした不安が残りました。



4月の例会では、黒滝にて「春のおさんぽ会」を開催しました。重信町と松山市から数家族が参加してくださいました。なんと、黒滝にすむへびくんのおつかいを皆で手伝いました。そうそう、へびくんが「ありがとう」と言っていましたよ。

..... 2ページ

5月の例会では、タイムダラー日本の篠崎さんをお迎えして、タイムダラーの学習会を行いました。ほとんどの参加者が「タイムダラーって何？」という状態だったにも関わらず、丁寧に説明してくださいました。上手に運用できたら暮らしの幅が広がりそうです。

..... 5ページ

6月の例会では、重信町役場の新庁舎を見学しました。町民にとって利用しやすい庁舎なのか、地球環境に配慮したと言われているがどんな配慮がなされているのかなど、いろんな視点で見えてきました。なお、案内役は町役場の別府さんと池川さんのお二人でした。ありがとうございます。

..... 10ページ

## 春のおさんぽ会に参加して

くらしの学習会で黒滝へ自然観察に登った。斉藤女史の遊び感覚で自然を愛し、自然に親しむよう指導される姿勢に心打たれた。溪谷の林道を登りながら、子供達のいきいきした目が樹木・草・花・虫さがしに向けられた。

目的地に着き、丸くなって座り、自分達の集めたものを出してお勉強の後、心と真下を見ると、廃棄物が目に入った。不法投棄である。以前に黒滝にごみの山ができてると聞いたが見つめることができなかった。今回は歩いて登ったから見つめることができたのだろう。大きな看板を立てたら少しは効果があるのではないかと皆と話した。この箇所より他にもあるのではないかと不安になった。

重信町民の大切な水の源は奥重信である。私は絶対に汚したくないという一念で過ごしてきた。虫が群れ飛び、カジカが鳴き、岩の間を縫って清らかな水音が響いてくるこのような環境を次世代に残すために、奥重信の玄関である烏ヶ嶽の御神木を県道改修から守り、ほっとしたのも束の間、最近又、産業廃棄物処理場が山之内にできるなどという噂が流れた。山之内の山中に不法投棄があるというので、どこかこの辺で心当たりの場所はないかと松山市環境課の方が尋ねられた。山之内の不法投棄なら隣町のことではないかと言っ

たら、その水を松山市民は飲んでいるのだから探してこいと叱られたそうである。確かに、上流の問題は下流域の人々の問題でもある。

水の中に溶けこむダイオキシン。何も知らずに飲んでいたら、気付いた時にはすでに遅い。手遅れである。私たちの目の届かない谷が、廃棄物で埋まり、そうして人知れず、猛毒は地下に流れ、私達の命の源である地下水へと浸透してゆくのである。今、女性達の聡明な目で、生命を守る母の力で、21世紀の子供達にきれいな水を残したいものである。無邪気にてんとう虫の話をしている子供達を見ながら、この子達の未来が光のさす世の中であれと祈る心地であった。

## 春のおさんぽ会

ワグイスが「ホーホケキョ」と鳴いて、春を告げておりますが、皆さんはいかがお過ごしでしょうか。  
春はやっぱりお散歩の季節です。そこで、昨年のおさんぽ会に引き続き、今年もおさんぽ会をすることになりました。  
でも、今回もたいていお散歩ではありません。森の中にかくれている面白いものを探しながら歩きます。  
お楽しみに！

日時：2000年4月29日（土曜日）  
午後1時30分～3時30分  
場所：重信、上流の黒滝周辺  
集合：午後1時30分に重信町民会館  
内容：テーマは「森のさがしもの」です。  
たいていお散歩じゃありません！  
持ち物：帽子、鉛筆またはペン  
参加料：無料  
その他：悪天候の場合は中止です。



※おさんぽ会に参加するには、申し込みが必要です。  
参加される方は、4月25日（火）までにお申し込みください。申込先は林さん（Tel & Fax. 089-964-6956. メール kt.hayashi@nifty.com）。  
「お名前」、「年齢」、「連絡先」をお知らせください。

くらしの学習会

(S. M)

\* おつかいメモ \*

ちくちくするもの ひとつ  
 カチのちがうはっぱ<sup>シメツ</sup>  
 はるのしるし ひとつ  
 いいにおいのもの ひとつ  
 はなびら ひとつ  
 まるいもの ひとつ  
 おもしろいもの ひとつ

これが ヘビくんの  
 「おつかいメモ」  
 なのだ。

みんな～  
 お手伝い  
 ありがとー！



— ももこの おしゃべり日記 —

今日は みんなで お出かけしたわ。  
 ヘビくんの おつかい したんだよね。  
 みんなで 歩いて 「たんけん」 みたいだったよ。  
 ももちゃんが 見つけたのは 「はるのしるし」。  
 「はるのしるし」 は いいにおいだったよ。  
 葉っぱに むしが お手紙を かいていたわ。  
 ももちゃん 「だいぼっけん」 したんだよ。  
 いちごのお花、かわいかったねえ。  
 こんどは いちごを たべたいな。  
 ヘビくん もうねたかな。  
 おかあさんに あまねばして ねたのかな。

はらだももこ

ももちゃんは、おさんぽ以来  
 虫メガネを「だいぼっけん」  
 という名前の道具だと思って  
 いるそうです。いしゅいしゅ。  
 私もそう呼ぼうっと。皆さん  
 もいかがですか？ (T.M)

4月29日の おさんぽ会、家族4人で お世話になりました。  
 静かで ゆったりとした時間の中で、子供達と同じ視線を  
 楽しむことができました。  
 特に、4才になる娘の 桃子にとっては、ワクワクのひととき  
 だった様です。  
 「小さな大発見」をやる度に 「見て!!」と 目をまんまるに  
 していました。  
 親子で 同じ視線で 同じ想いを 感じた事と、子供達とは  
 どんな 風に 記憶してくれるのでしょうか。  
 いつか 草や木にかまれて 春のにおいを感じた時に、  
 この日の ワクワクやゆったりと 身体のどこかで 思い出してくれたら、  
 嬉しいな... と思っています。

原田 尚子

今日は とつと お天気がよくて

(山崎さんより)

お天気が 日め でした。

やはり一番は「ありとほととぎす」かな?

ええと思いつつ そんな話もあつたかなと

たどたどしたのに。でもこれと とつと

なごやせになつたように思ひます。とつと いい

ハイキング だったかな。もっとたくさん人が

あつていゝかと思つたのに。かなと。びく!!

春の山にはあちちとかわいい花が たくさん

咲いていゝんです。あんまり 自己主張してないけど

でも とつと目につくのは とつとかな?

夏山、秋山。どんなふうにかゝるのか

おもしろいなと思つたのは 秋山かな?

酒井村は。酒井村で ワンワンと ぬいぐるみで

よかつたみたい。19/10に 今の感想は? と 主として

へい  
お天気が  
どうなつたの?

言「ありとほととぎす」でした。 静寂の季節が... 静寂の季節。

秋にも 楽しむ 山中のお天気が とつと 静寂

良かったです。

ほんとに 11月。緑の白いつつまの 11月 時の

たつたを 忘れしまいました。

酒井村で 食べた ぬいぐるみ おもしろいかなー

重信に住む 8年 秋山 知らない所が

11月... 11月 秋は 三村村泉に行つた

です。 今日は。 ありがとう ございました。

(三好さんより)

いろいろたんけんして

おもしろかったよ 静寂

皆さん、感想をお寄せください。ありがとうございます。また秋に行きましょう! (T.S)

# タイムダラーを始めませんか

5月29日 14:00～ 町民会館において、タイムダラーについて説明会を開きました。

## 〈タイムダラーのはじまり〉

「地域で埋もれているパワーをコミュニティ再構築の資源として活用できないだろうか」こんな思いのもと、1980年の初期、米国ワシントンDC在住の弁護士であり市民活動家であるエドガー・カーン博士によって、タイムダラーは考案されました。

## 〈タイムダラーの理念〉

タイムダラーは、お互いの能力と時間を会員の間で交換する新しい形の相互扶助システムです。「この世の中に、役に立たない人はいない」という理念で地域に埋もれている人の能力や善意を掘り起こし、地域の再構築をしようという運動です。

大きな特徴のひとつは、**双方向の助け合い**です。

地域社会での日常生活の中には、困ったことや、不便なことがあります。そんな時、地域の人々同士でちょっとした助け合いや支え合いがあれば、不安のない、楽しい生活が送れます。今までのボランティア活動では、助ける人は助けるだけ、助けられる人は助けられるだけといった形が多く見られます。それは、一方通行の助け合いです。ある時は助け、ある時は助けられることが大事です。これが「**双方向の助け合い**」です。

**双方向の助け合いを仲立ちするのが、タイムダラー**です。

お互いの助け合い（一応、これをサービスと呼びます）を、お金で置き換えることはしません。タイムダラーでは、サービスに使った時間の長さで置き換えます。1時間のサービスを1点とします。大事なことは、サービスの内容によって点数が決まらないということです。お金ですべての価値を決める「市場経済」と基本的に違うところです。お金と違って、時間は誰にも平等にあります。だからこそ、誰でも、どんなことでも、サービスを提供して点数を得られるし、その点数を使って気兼ねなくにサービスを受けることができます。

この点数が「**信頼の通貨**」なのです。この助け合いを進めることで、地域の人々の心がつながれ、助け合いの絆（きずな）が多くなれば、地域の人々が結ばれます。これまでの報酬やお礼でつながった関係でない「**大きな家族**」が生まれ、地域が変わっていくのです。

㊦ 〈関前村の だんだん〉

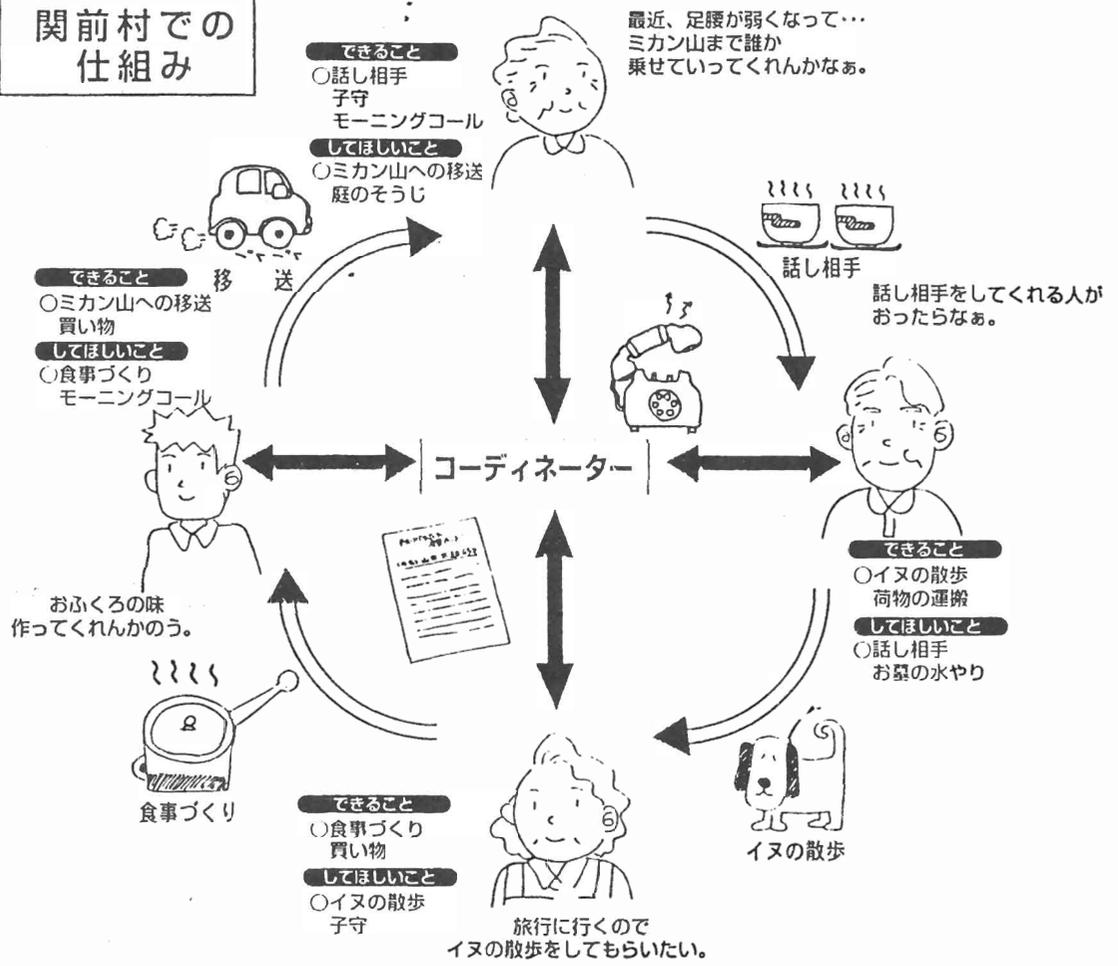
愛媛県越智郡の島しょ部に位置する関前村は、人口千人に満たない超過疎、超高齢化の離島です。ここで、「安心して楽しく老いる」を合い言葉に、平成7年7月に「タイムダラー」を導入しました。スタートに至るまでの約半年間、中核メンバーの12人が勉強会を続け、昔からある相互扶助の伝統を再構築し、地域の連帯意識を復活して新しい地域づくりに活かそうと話し合いました。現在は、会員数は70人を超えています。

サービスの内容は、必ずしも高齢者へのサービスが中心ではありません。日常の生活で困っていることの助け合い、支え合いを目指しています。地縁、血縁だけでなく、住民の結びつきを深める「双方向の助け合い」を最も重視しています。グループの名前も、地域の方言で「重ねがさねありがとう」の意味の「だんだん」にして、親しみを持たせています。

以下、「だんだん」の概要を紹介します。

事務局所在地	愛媛県越智郡関前村岡村 関前村高齢者福祉センター内
運営主体	グループだんだん
発行単位	サービス30分を1点（1だんだん）として、利用者はチップ1枚をサービス提供者に手渡す。
活動開始時期	平成7年7月
活動範囲	関前村3島のうち役場所在地の岡村島
会員数	73人（男11人、女62人）
サービスの仕組み	タイムダラーの理念に基づいて、会員間でサービス（チップ）の交換による双方向の相互扶助を行う。入会するとチップ20枚が渡され、会員の合意で作られたサービスメニューを中心に7グループのリーダー（世話役）がサービスの提供者、利用者をつなぐ。チップがなくなれば世話人からもらえる。年度が変われば新規にチップ20枚から始める。年会費500円。
サービスの内容	日常生活で困っていることで、送迎、保育所の送り迎え、買い物、運搬、子守りなど約45種。内容は必要に応じて増える。
記録方法	リーダーがサービス提供と利用の日時、交換したチップ数を記録する。年度末にはチップを多く交換した会員にアメリカのタイムダラー本部から表彰状が贈られる。
特徴	全くサービスの交換だけによって、年代を超えて住民を結びつけ、支え合いの地域社会を作ろうとしている。会員を利用者と提供者に分けず、お互いに自分に来ること、してもらいたいことを探し合い、安心して暮らせる村を目指している。お金は一切からませず、チップのみで、現在のところ行政の支援は受けていない。時間預託とは異なり、チップを貯めることを目的にしていけないので、本来の助け合う人間関係が生まれる。住民の結びつきを深め、地域を元気づける効果が大きい。

**関前村での  
仕組み**



**〈お問い合わせ、ご相談について〉**

(電話) 089-976-6644 (株)バツフォ内  
 タイムダラー・ネットワーク・ジャパン ヘロン久保田雅子  
 (ファックス) 089-976-8844  
 (E-メール) masako@us.ehime-iinet.or.jp  
 (ホームページ) <http://www.timedollar.or.jp>  
 世界各地での活動、地域での新しい活動を、随時乗せています  
 のでのぞいて見て下さい。

※タイムダラー・ネットワーク・ジャパン パンフレットあり

関前村で実際に使われているサービスメニューです。

## だんだん サービスメニュー

	サービス	できる	してほしい		サービス	できる	してほしい
	買い物(村内外)				裁縫		
	おつかい(村内外)				あみもの		
	出かける際の付添い				繕いもの		
	子どもの世話						
	車での送迎				簡単な家(内外)の修理		
	車での荷物の運搬				簡単な車の修理		
	車での粗大ゴミ捨て				簡単なバイクの修理		
					簡単な自転車の修理		
	重いものの移動				調理の手伝い		
	重いものの持ち運び				洗たく・アイロンかけ		
	家具の移動				ゴミ捨て		
	季節もの入替え				そうじ		
	モーニングコール				スポーツの指導		
	話し相手(電話も含む)				楽器の指導		
	家庭訪問				魚つりの指導		
	島の慣習などを伝える				趣味・特技の伝授		
	ペットの世話(えさやりなど)				写真撮影		
	花・植木の水やり				ビデオ撮影		
	庭の草抜き				楽器による演奏		
	ワープロでの文書作成				だんだんの文書配り		
	ワープロ・パソコン等の指導				アール・70会などのお茶の準備		
	手紙の代筆						

（説明を聞いて）

日本でもさまざまな地域や団体にタイムダラーが取り入れられています。出発時点の考え方はあまり違いがないようですが、実行していく過程で、それぞれの団体に工夫があります。だんだんは地域のお年寄りや婦人会の人々や役場の職員の相互の支え合いにより普及させて地域づくりに成功している一例です。

最も興味深く感じたことは、ボランティアというのは一方通行であり、する人とされる人が固定してしまうから、この関係からは発展することが生じないという考え方でした。現在いわれるボランティアから、もう一步踏みでた支え合いの関係が存在する地域を作ろうと言うことでしょうか。

お年寄りが人口の多くをしめる地域では、タイムダラーを利用して地域の結びつきを深くすることで暮らしやすくなるでしょうし、都会ぐらしの中で、隣の人の顔さえ知らない人々にとっても利点が多くあるように思います。

人を頼らず、人を当てにせず、そうすることが、最も、大切だと信じてきた年代には、お世話になるだけの関係は苦痛でしかありません。そうならないために、相互扶助の関係を立ち上げて生活していく必要を感じます。しかし、タイムダラーで支え合う関係には限界があります。

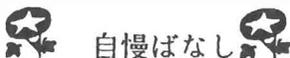
介護保険によってお年寄りや身体障害者の自立支援体制が確立しつつありますが、実際の現場での利用はどうなのでしょう。

利用者と家族とホームヘルパーと事業所の歯車がかみ合ってこそ介護保険の存在価値が生まれます。うまく育てて、自立支援の手助けとなりますように。しかし、現在は、在宅での自立支援希望が行政サイドの見込みほど伸びがないと聞いています。

タイムダラーと介護保険利用は、同じ土俵では、語れないものかもしれませんが、利用者や会員の取り組み方で安心な暮らしを手に入れるそれぞれの方法です。

介護保険は、行政が深く関係してくるので、即、実行に移す事はできませんし、利用者も特定されます。が、タイムダラーは、数名単位の仲間での立ち上げが可能です。実行されてはいかがでしょうか。

(M.T)



6月24日、朝、なにげなく見ていたNHKの全国放送の映像のテロップに、愛媛県重信町の文字が。“泉”の映像でした。白い小さな花は、7月いっぱい見られますとも書いてあった。ヤッタ。全国に自慢できる泉。

思わず、来年、都会で暮らしたいという娘に、「どこの出身か。」と、聞かれたら、夏目漱石でも正岡子規でも道後温泉でもなく“泉”で有名な「重信町出身です。」と言うように伝えた。

(M.T)

週に一度トレーニングセンターに出かけているので、新庁舎の出来上がるのを遠くから見ていて、青いシートが外され田園風景の中に建物が現れた時は「凄いものができたなあ。」といった感じでした。くらしの学習会で出来上がったから見学をしようと決めていたので6月12日(月)メンバーと有志併せて14名で総務課別府課長の案内で見学をしました。

内部はガラス面を広く取り入れている為か明るくとでも広々とした空間が広がり以前の町役場とは雲泥の差に驚かされました。町民に親しみやすく、情報化に適応した情報ネットワークシステムを導入し、地球環境に配慮した施設になっているそうです。

町民に親しみやすくでは、とくに利用の多い課を一階に設置し、ロビーは広くゆったりとしたスペースを取り、全てのフロアを禁煙とし、案内所を設置(人員外部委託)

情報化対応では、全フロアの電気配線は床下を通し、職員一人一台のパソコンを導入し連絡事項はペーパーレス化をはかる。

地球環境に配慮したでは、出力60KWの太陽光発電(見学当日はくもりだったので約20KW)を備え、照明のみ30~40%冷暖房を入れる5~6%の電力が賄えるそうです。(正面入り口付近に設置してある電光掲示板に表示してあります。)ガラス面を広くし自然光を取り入れ(新幹線と同じガラスを使用し、震度8にも耐えられ耐熱性もある)室内照明はセンサーで調節し、トイレは人の出入りにより自動照明、トイレと灌漑用の水は雨水利用、駐車場は吸水性アスファルトを使用し雨水を地下に戻すなどの工夫がされているそうです。

4階には大小会議室があり町民の利用もできるそうです。各フロアには絵画が飾られさすが約28億円の新庁舎は圧巻でした。職員の中で「エコタウン」と称したグループを作り(池川さん他12名)環境問題についての学習をしているそうで、詳しい内容については別に時間を取って話し合える機会を設けられるといいですね。

私たちが利用してみて、案内所には常時、人がいてほしい(昼休みにいなかった)案内版の位置がわかりにくいので二重ドアの内側の正面ガラス面に移動すれば両サイドにある自動ドアもわかりやすい等のお願いをさせていただきました。

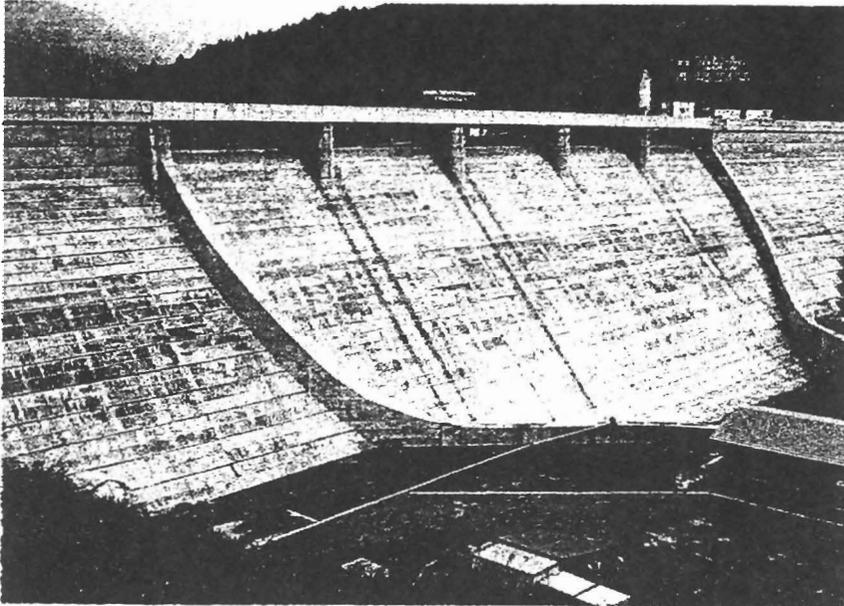
最後に、この新庁舎ができる前の土地には旧家があり、その敷地内には、めだかやシジミなどの生物がいた水路があったことを付け加えたいと思います。

# 佐古ダム 威容現す

重信・農業用 本体工事終了

## 2002年度以降使用開始へ

中四国農政局



中国四国農政局などが二〇〇一年三月末の完成を目指して  
温泉郡重信町下林に建設している農業用「佐古ダム」のコン  
クリート本体工事が今春終了。巨大構造物の威容を現してい  
る。使用を始めるのは〇二年度以降。

このダムは、面河ダム  
から取水できない松山平  
野の裏作時期（十月七日～  
六月五日）にかんがい用  
水を供給するのが目的。  
約百五十年前に同所に造  
られ、老朽化が進んでい  
た農業用ため池「佐古谷  
池」を撤去し築造してい  
る。

重力式コンクリートダム  
で堤長二百十メートル、堤高三  
十一メートル、総貯水量百十一  
万トン。ため池当時と比べ  
て貯水量で約三・六倍と  
なる。かんがい面積は水  
田裏作や輪換畑合わせて  
千四百十ヘクタール（松山市、伊予  
市、温泉郡重信町、川内  
町、伊予郡松前町、砥部  
町）。九六年に着工。ダ  
ム本体工費は約六十五億  
円。

現在、ダム管理棟の建設

巨大なコンクリートの  
威容を現している佐古  
ダム 重信町下林

や工事現場周辺に設けられ  
たコンクリート製造設備の  
解体、撤去作業などを進め  
ている。今秋にはダムに水  
を貯めて安全性を確認する  
満水（たんすい）試験を始  
める予定。

愛媛新聞 2000.6.24(土)

新しいダムが重信町にできました。もがましい存在感です。  
私たちが人間は、いつかいくつかの鎮魂歌を他の生きもの  
たちのためにうたつたらいいでしょう。(T.S)

雑感

K・O

“Y2K”だとか“ミレニアム”だとか、今までの私の生活にはまるで無縁な言葉と共に今世紀最後の年を迎え、もう半年が過ぎようとしています。世間もミレニアム挙式、ミレニアムベビーとそれなりの盛り上がりを見せ、ここ愛媛でもミレニアムベビーを祝福するために知事が出向き、特別な出産として扱っていた記事を目にした記憶があります。

そんな千年に一度のおめでたい年というイメージとは裏腹に、このところの連日の暗いニュースには目を覆いたくなります。

次々に起こるあってはならない不注意による事故、人間を生きのまま焼き殺してしまう様な残酷な事件、“少年”達による様々な事件、あまりの多さに覚えきれない程です。

まさに世紀末といった感じです。

マスコミでは多くの専門家や識者が、言葉を尽くしてそれらを“分析”しています。

分析し原因らしきものが分かったとして、どうすればよいと言うのでしょうか。

これといった解決法は見つからず、出口の無い迷路に迷い込んでしまった様な不安と苛立ちを感じる毎日でした。

そんな時、私はある素敵な女性と出会いました。NHK朝の連続テレビ小説で加賀まりこさん演じる“お珠ちゃん”です。

それぞれに世間的には問題を抱える娘と息子を、あるがままに認め、とことん愛しているけれど、甘やかさず、時には布団たたきを持って追いかけて回します。

そして彼女の口から小気味のよい台詞がポンポン飛び出します。

デコボコだらけとも思える娘や息子を、決して世間の平凡な丸い型にはめ込もうとしない彼女の様な母親になれたら、子供達も、もっと楽しんで、真剣に自分に合った自分なりの道を探ることができる様に思えます。

子供にとって一番影響を与える環境は“親の気持ち”そんな当たり前の事を、日々気づかせてくれる“お珠ちゃん”に今私はハマっています。

### 【講演会のお知らせ（女性塾より）】

・7月29日（土） 13：30～15：30 町民会館2階 第3会議室

テーマ：現代社会と農業 一消費者と生産者との共生は可能か

講師：愛媛大学農学部教授 中川聡七郎さん

・9月1日（金） 19：00～21：00 町民会館2階 第1・2研修室

テーマ：地方の時代と合併 一新地方の時代構築を合併との関連で考える

講師：愛媛大学法文学部教授 藤目節夫さん

### 【今後の予定】

7月の例会：7月11日（火） 12：00～ 町民会館

今後の活動や日頃感じていることなど、いろんな話題を持ち寄っての井戸端会議。

くらしの学習会では、随時会員を募集しております

活動会員 2,000円／1年 購読会員 1,000円／1年

振込口座番号（郵便局） くらしの学習会 01610-5-21026

問い合わせ先 電話・ファックス 089-964-6956（林）

### 編集後記

我が家の近所ではツバメの子どもたちが巣立ち、家族で連れ立って飛んでいます。面河ではカジカガエルのオタマジャクシが泳いでいました。みんな地球の仲間です。 (T.S)